

小学校第4学年音楽科学習指導案

指導者 小島 浩子

1 題材名 木管楽器の音色のちがいを聴こう

2 題材の目標 木管楽器の音の特徴からイメージしたことを言葉で表したり、自分の思いを伝え合ったりする活動を通して、音色の違いを感じ取って聴く。

3 主な〔共通事項〕 ア（ア）音色

4 題材設定の意図

本題材では、音楽を構成する様々な要素の中から音色に焦点を当て、木管楽器の音色を聴き比べる活動を通して、音色の違いを感じ取ったり、それぞれの美しさを味わって聴いたりすることをねらいとしている。

木管楽器に親しみ、発音構造を理解するため、DVD等の映像教材を視聴したり、実際に身近な材料を使って簡単な楽器作りなどをしたりする活動を取り入れたい。さらに、木管楽器の音色を聴き比べる際には、自分なりの言葉で表す活動を充実させることで、それぞれの楽器の音色の違いや美しさを感じ取ることができるようにしたい。

5 教材について

- ・「木管楽器の音楽（とんび）」（梁田 貞 作曲 中村 暢之 編曲）
（三つの楽器それぞれの音の特徴や音色の違いを明確にするため選曲）
- ・「バディネリ」（J.Sバッハ 作曲）
（フルートの特徴や音色を知覚し、感じ取って聴くための選曲）
- ・「ガボット」（ラモー 作曲）
（オーボエの特徴や音色を知覚し、感じ取って聴くための選曲）
- ・「クラリネットポルカ」（ポーランド民謡 森田 一浩 編曲）
（クラリネットの特徴や音色を知覚し、感じ取って聴くための選曲）

6 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
歌唱		
器楽		
創作		
鑑賞	○	○
題材評の	木管楽器の音の特徴からイメージしたことを言葉で表したり、自分の思いを伝え合ったりする活動を通して、音色	木管楽器の音の特徴からイメージしたことを言葉で表したり、自分の思いを伝え合ったりする活動を通して、音色

評価規準	の違いを感じ取って聴くことに意欲的である。	の違いを感じ取って聴いている。
学習主体活動の動評に価値を規ける	①木管楽器の音色や演奏の仕方に興味・関心をもって聴くことに意欲的である。	①音色からイメージする言葉をワークシートに記入する活動において音色の違いを感じ取っている。 ②鑑賞を通して、自分の好きな楽器を選び、自分なりの価値をもって紹介文に表す活動において、音色の違いを感じ取って聴いている。

7 学習と評価の計画（4時間扱い）

次（時）	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
第一次 （第1時）	木管楽器の音色や音の出る仕組みについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> 木管楽器の音色や形状，音が出る仕組みについて知る。 演奏映像を視聴する。 フルート，オーボエ，クラリネットそれぞれの発音の仕組みを手作り楽器を用いて体験する。 	ア-①
（第2時）	木管楽器それぞれの音色の違いを感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> 3種類の「とんび」の音の特徴や奏法の違いを感じ取って聴き比べる。 	
第二次 （第3時） （本時）	木管楽器それぞれの音色の美しさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> 「バディネリ」「ガボット」「クラリネットポルカ」の中から気に入った楽曲を選び，音色について聴き取ったことを言葉で表し，同じ楽曲を選んだグループごとに発表し合う。 	エー①
（第4時）	木管楽器それぞれの音色や特徴，美しさを感じ取って聴く。	<ul style="list-style-type: none"> 「バディネリ」「ガボット」「クラリネットポルカ」を聴き，音色の違いを感じ取ったことを鑑賞文にする。 	エー②

8 本時の学習

(1) ねらい

フルート，オーボエ，クラリネットそれぞれの音色の美しさを味わう。

(2) 準備・資料

CD，CDデッキ，模造紙，付箋紙

(3) 展 開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ（◆学習活動における具体的評価規準）
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div data-bbox="165 338 746 436" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>自分の好きな木管楽器の音色をみんなにしようかいしよう。</p></div> <p>2 「パディネリ」, 「ガボット」, 「クラリネットポルカ」を聴く。</p> <p>(1) 曲名を伏せて, 冒頭部分を聴き, 主な旋律を演奏している楽器を当てる。</p> <p>(2) 三つの楽器それぞれの音色や曲想を味わって聴く。</p> <p>3 楽器の音色の美しさを味わう。</p> <p>(1) 各自好きな楽器を一つ選び, その楽器の音色のよさを書く。</p> <p>(2) 選んだ楽器ごとのグループで, 自分の意見を伝え合い, ワークシートに記入する。</p> <p>4 グループごとに発表する。 模造紙にまとめたことをグループの代表者が発表する。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>○前時の学習を思い出し, 各楽器の形状や構造について簡単に復習する。</p> <p>○前時で鑑賞した「とんび」と同じ3種類の楽器（フルート, オーボエ, クラリネット）が主な旋律を演奏していることを知らせておく。</p> <p>○自分が好きな音色はどれかを考えながら, 集中して鑑賞できるようにする。</p> <p>○前時の学習を生かし, 言葉を用いて楽器の音色のよいところ, すてきだと思うところをなるべくたくさんあげられるよう助言する。</p> <p>○短い文章でよいので, なるべくたくさんあげられるように伝える。</p> <p>○CDを自由に何度も聴くことができるようにしておく。</p> <p>◆音色からイメージする言葉をワークシートに記入する活動において音色の違いを感じ取っている。エー①</p> <p>○友達の発表をよく聞き, お互いの考えを認め合えるような雰囲気作りをする。</p> <p>○本時学習したことを基にして, 3曲を改めて鑑賞し, 音色の違いを感じ取って聴いたことを鑑賞文にする活動をする伝える。</p>